

図2 南行、北行のピクセルオフセット解析結果を組み合わせて推定した変位量の3次元成分.

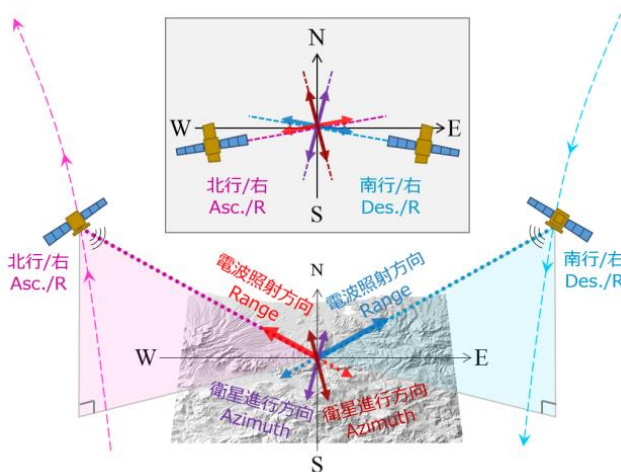


図3 ピクセルオフセット解析結果を利用した3次元解析の原理図. 1方向からの観測で電波照射方向及び衛星進行方向の2成分の変位量が得られる. 2方向からの観測によって得られた4成分の変位量を用いて, 最小二乗法で3つの未知数(東西, 南北, 上下)を計算することができる.

本成果は, 地震予知連絡会 SAR 解析ワーキンググループの活動を通して得られたものである.